

レジ袋削減に係る事業者向けアンケート調査結果

長野県環境部資源循環推進課

1 調査の概要

実施日 : 平成 28 年 8 月 31 日依頼

回答数 : 協議会メンバーの事業者 31 社に依頼し、24 社から回答有

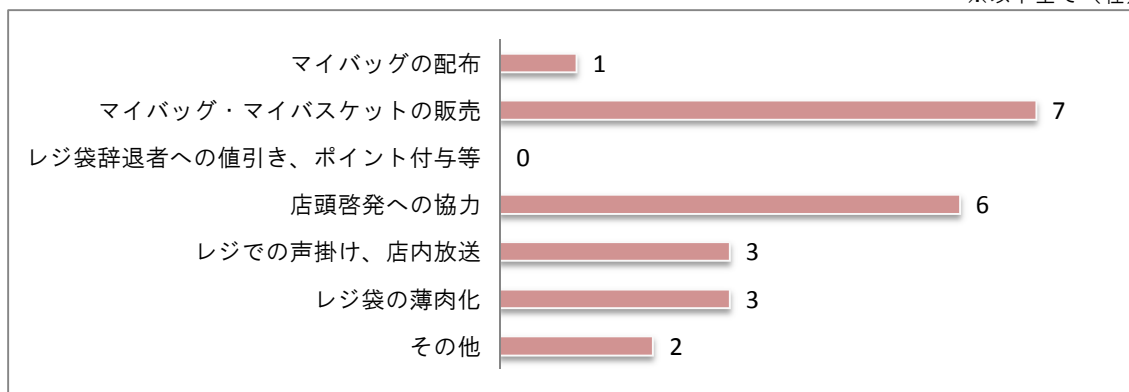
記載方法 : 原則、マーク式（その他や理由等については記載式）

2 アンケート結果（具体例や意見等については、一部を抜粋）

(1) Q : 現在のレジ袋削減の取組について（複数回答可）

A① : 『レジ袋の有料化を選択したのは、7 社』

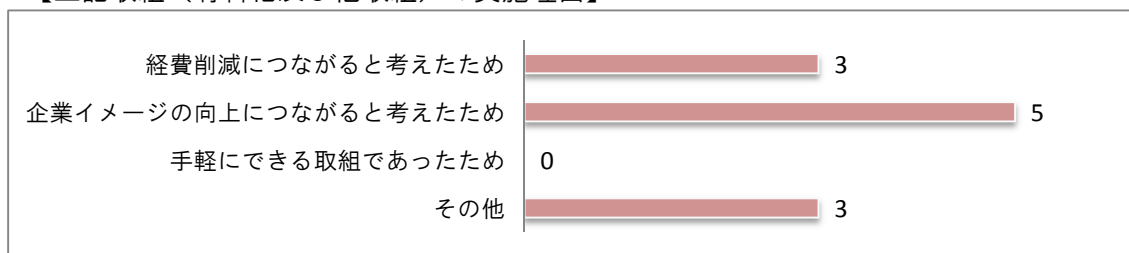
【レジ袋の有料化とともに実施している取組】

単位 (社)
※以下全て (社)

その他の取組

- ・ レジ袋収益金の寄付 ・ マイバッグの配布 ・ 店頭での啓発活動
- ・ 環境負荷の低いバイオマス素材のレジ袋使用

【上記取組（有料化及び他取組）の実施理由】

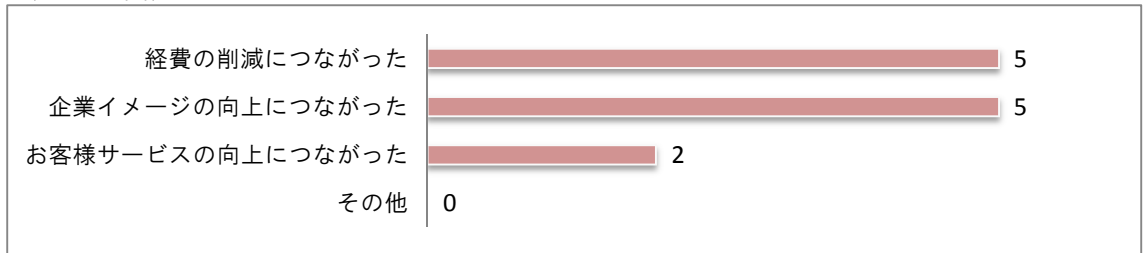


その他の理由

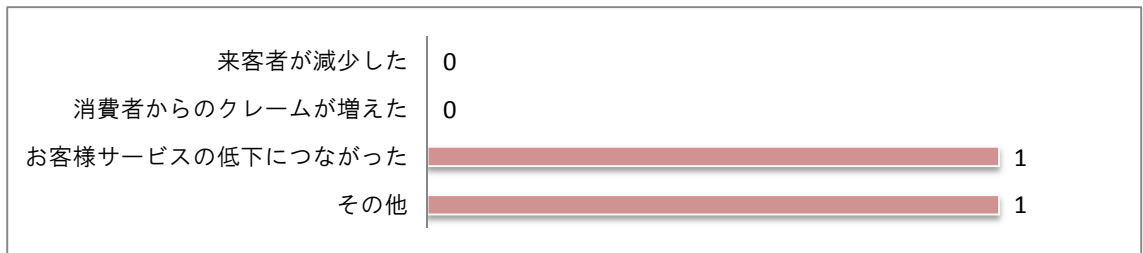
- ・ ごみの削減や石油の節約のためお客様とともにできる取組であるため
- ・ 消費者も企業も自然と共存できる豊かな消費生活の実現に取り組むため
- ・ 環境への負荷を軽減するため
- ・ 自然を守らなくてはならないという使命の中で事業を行っており、レジ袋の無料配布については積極的に取り組まなければいけない、との思いで実施
- ・ グループとして環境負荷低減に取り組んでいるため

【上記取組（有料化及び他取組）の効果】

（プラス面）



（マイナス面）

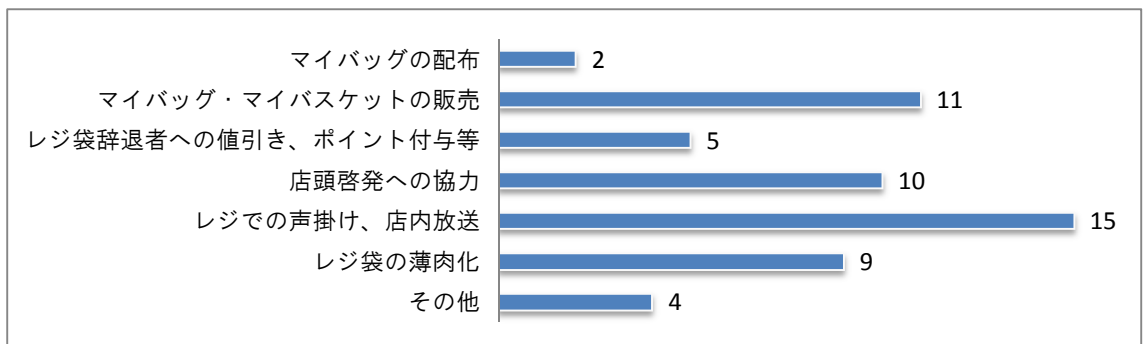


その他のマイナス面

- ・ 来客者が多少減少し、クレームや問い合わせが若干あった

A②：『レジ袋の有料化を選択しなかったのは、17社』

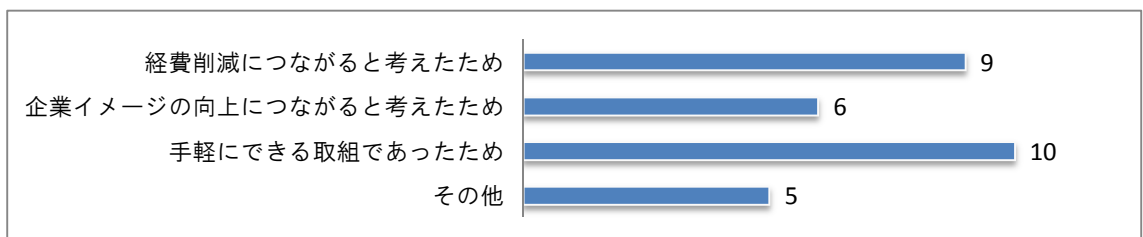
【レジ袋の有料化以外に実施している取組】



その他の取組

- ・ 植樹、森づくり活動
- ・ レジ袋のリユース
- ・ 環境負荷の低いバイオマス素材のレジ袋使用

【上記取組（有料化以外の取組）の実施理由】



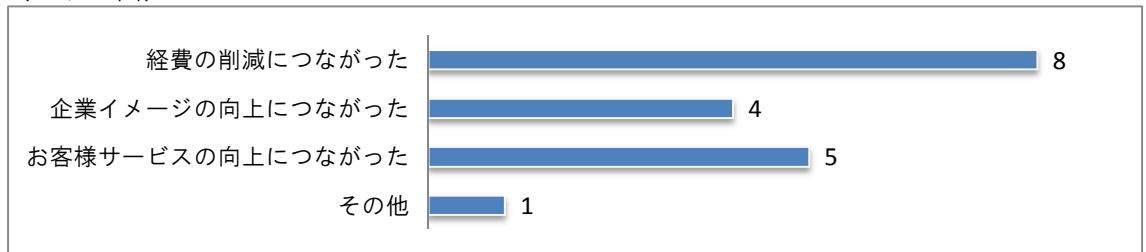
その他の理由

- ・ 消費者も企業も自然と共存できる豊かな消費生活の実現に取り組むため

- ・ 取り扱い商品の特徵上、マイバッグには入らないものが多いため、声掛けや薄肉化の取組を選択
- ・ 環境への負荷を軽減するため
- ・ お客様へのサービスと負担を考慮した結果
- ・ レジ袋がゴミ袋となったり、捨てられてゴミになったりすることによる環境へのデメリットを軽減したいため
- ・ 国へのレジ袋削減報告の義務化
- ・ 資源の削減、有効活用のため
- ・ 企業の社会的責任として

【上記取組（有料化以外の取組）の効果】

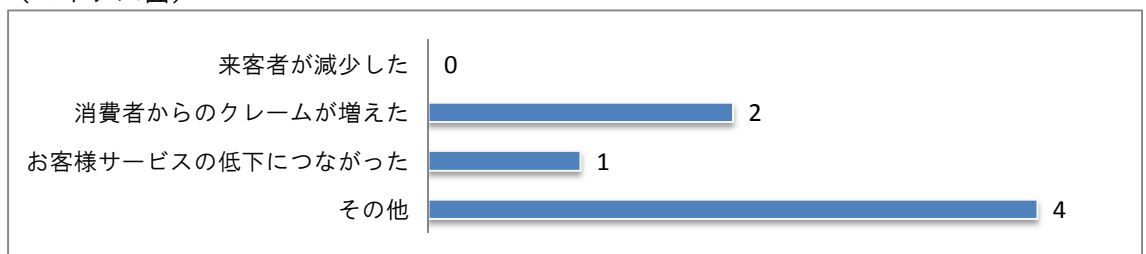
（プラス面）



その他の効果

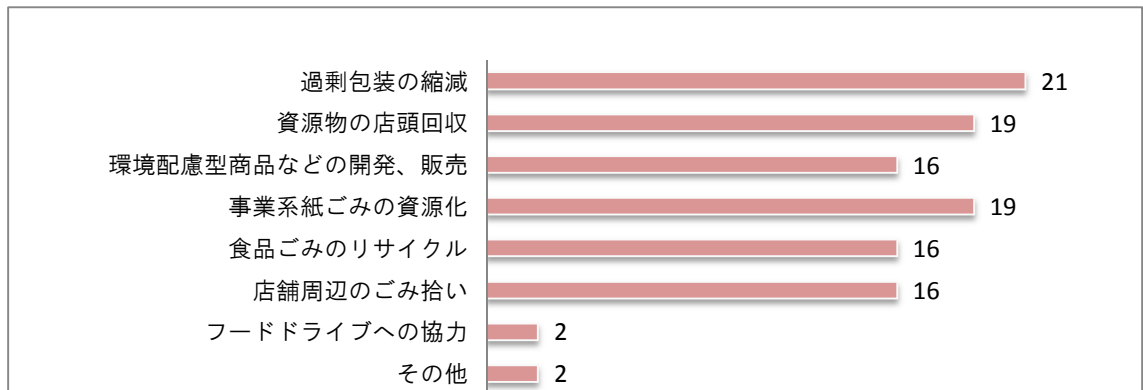
- ・ 協力関係の構築

（マイナス面）



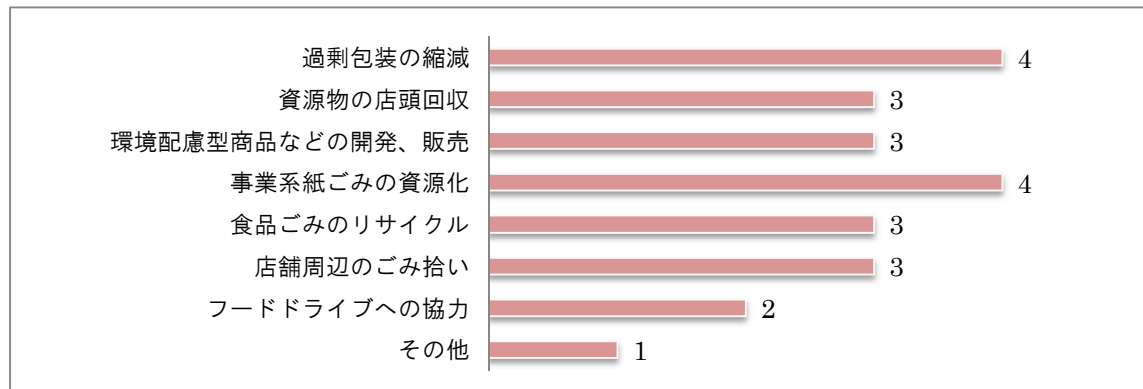
(2) Q: レジ袋削減以外のごみ削減やリサイクル、環境保全等のための取組について(複数回答可)

A: 【現在の取組】



- ・ 植樹活動 ・ 環境学習支援 ・ 地域の団体支援 ・ みんなでエコライフ
- ・ 省エネ教室 ・ 緑のカーテンコンテスト ・ 森のクラフト教室
- ・ フードバンク信州の賛助会員として今後の協力についても模索中
- ・ リリパック弁当容器の使用・回収(60%) ・ 割り箸回収 ・ 簡易包装の取組
- ・ ペットボトル、トレイ、ペットボトルキャップの回収
- ・ リサイクルステーションの設置(回収品は古紙・ペットボトル・空き缶)

【今後の取組】

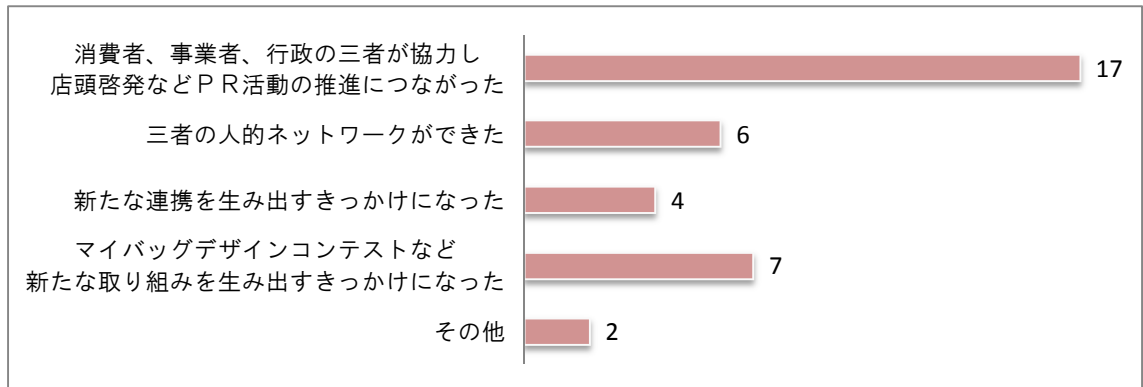


その他の意見

- ・ 資源化・リサイクルについてはできているところもあるが、対応する事業者が無いなどでできていないところもあるため、排出量の減量とともに取り組んでいきたい。

(3) Q：協働アピールの成果について（複数回答可）

A：

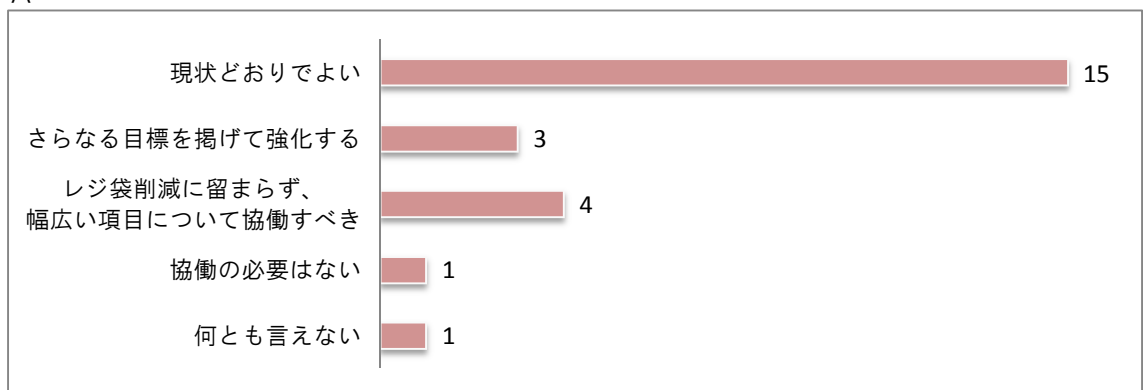


その他の具体例

- ・店頭啓発を実施してもらった
- ・いろいろなところとの取組に参加させてもらえた

(4) Q：引き続き、レジ袋削減について協働することの必要性について

A：

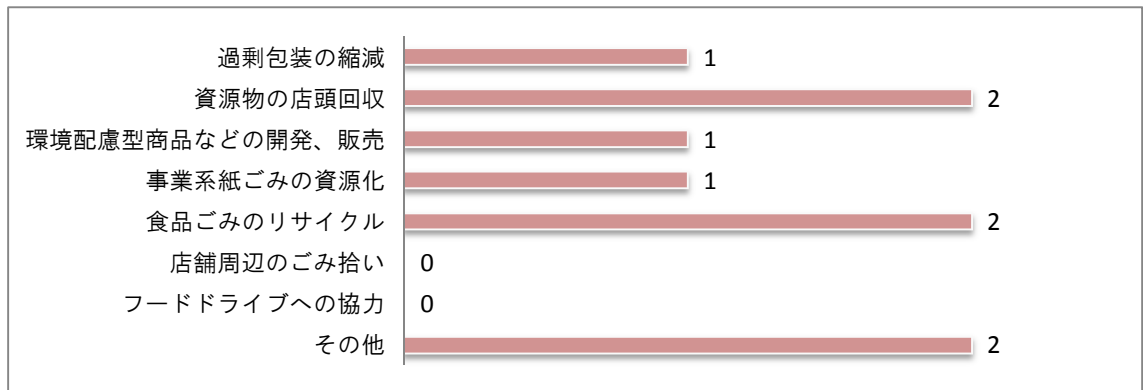


その他の意見

- ・コンビニ業界を巻き込まないとこれからの発展はない。
- ・県、行政が主導をとり、全県レジ袋無料配布中止を希望する。
- ・事業者単独では、難しい面もあり、三者で連携していかないと効果は出ない。

(5) Q：幅広い項目について協働すべきとした際に、こういった項目で協働していくべきか（複数回答可）

A：

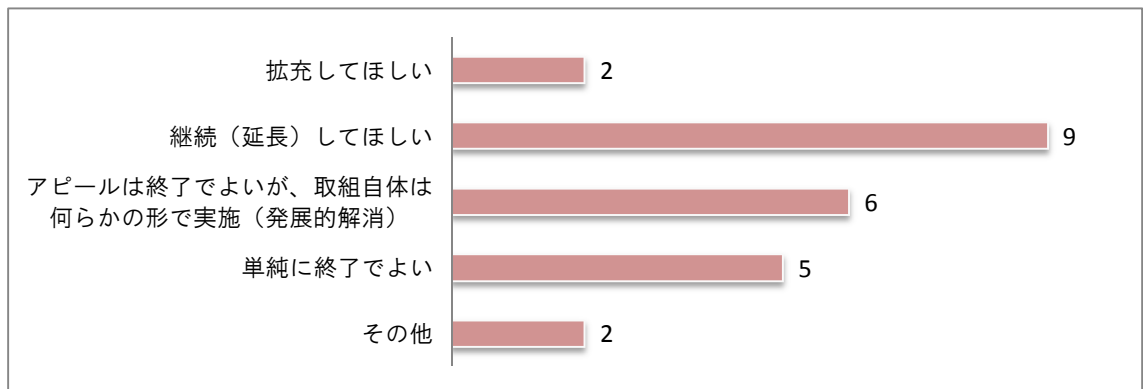


その他の意見

- ・それぞれの項目の深化、拡大
- ・食品廃棄量削減のためにできることがあればよいのではないか

(6) Q：協働アピールを今後どうしていきたいか

A：

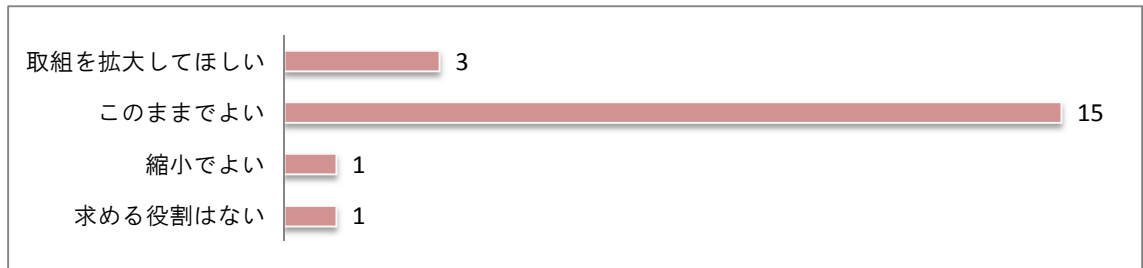


その他の意見

- ・県がどうしたいか不明のため、回答できない
- ・一定周知と成果はあったと思うが、更なる強化は難しい
- ・全県でのレジ袋無料配布実施
- ・環境を考え、取組は継続すべき

(7) Q：今後、県に求める役割について

A：



(主な意見等)

【拡大してほしい】

- ・(理由) 拡大を目指し継続することが重要と考えるから
- ・(役割) 企業、組織を超えた取り組みになるよう指導してほしい
- ・(役割) 行政のレジ袋無料配布中止に向けた取り組みが全然見えてこないため、トーンダウンしていると思えない。行政の積極的な取り組みを希望する
- ・(理由) 環境についての取り組みは、今のままだと企業ごとに異なる考え方をまとめられず消費者も、それにつられて、認識が変わっていかないと思われるため
- ・(役割) レジ袋からエコバック、簡易包装への考え方を企業や消費者に向けてさらにアピールしてほしい

【このままでよい】

- ・(理由) それぞれの企業独自の取組で進めていく形でよい
- ・(理由) 環境に関心を持つ消費者が確実に増えてきているから
- ・(役割) 様々な情報の発信拠点として希望する
- ・(理由) 現状の取り組みで十分効果があると考え
- ・(役割) 現状の取り組みを今後も推進してほしい
- ・(理由) 事業所をまとめて県がイニシアティブをとって進めて欲しい

【縮小でよい】

- ・(理由) レジ袋削減を切り口としたゴミ減量に対する意識向上の取組は消費者に十分浸透してきたため

【役割なし】

【無回答】

- ・(役割) フードドライブ等新たな取組へのシフト
- ・(役割) 県民が環境保全の取組み意識を高める施策と広報。各市町村や地域で取り組んでいる活動を支援。

(8) Q：その他意見等

A：・今後も可能な範囲において、レジ袋やごみの削減、資源化に取り組んでいく

・同業種の各社が積極的に取り組みに参加できるよう配慮してほしい

・再資源化施設の立地の改善に行政として取り組んでほしい

・広域での処理施設の建設や建設への補助金の交付等

・市町村を超えた食品リサイクルへの関与

現在、食品リサイクルする場合、同じ市町村に施設がない場合は、他の市町村への持込に大きなハードルがあるため、県の関与で隣接する市町村でのリサイクルができるようにならないか